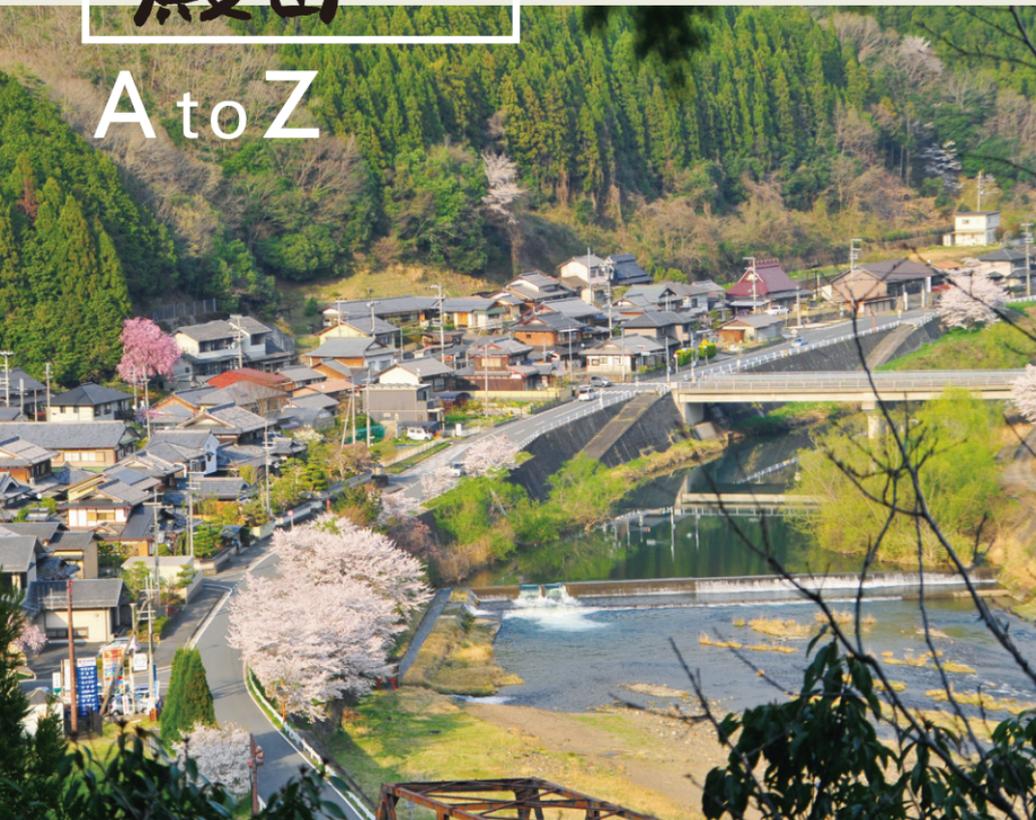


KYOTO HIYOSHI TONODA

# 殿田

A to Z



## HISTORY

### 殿田の町の歴史

すみのくらしようい

殿田の町の発展は角倉了以の保津川の開拓により  
大堰川の船運が開かれ、世木（殿田）から嵯峨へ  
木材と物資を運ぶ水路の発展と共に大きく発展しました。

船着場は賑わい、大堰川の岸边には  
桜の花が咲き乱れ、屋形船で遊ぶ人々の姿も。  
近隣の町や村からも人々が集まることにより  
町は30戸の町から百数十戸の町に発展。

旅館や料理旅館、多くの店舗が生まれ、  
「殿田にないものはない」と買物に来る人々で賑わいました。

マンガンの採掘や木材の集積駅として殿田駅（現日吉駅）は、  
貨物駅として多くの人々の働く場でもありました。

## FUTURE

### 未来へ

殿田には今、小学生以下のこどもが23名、  
最近の1ターンは10数軒を数えています。  
空家ができればすぐ埋まるほど人気です。

夏には花火大会もある手づくりの夏祭り、  
秋にはいなか祭りがあります。

梅若菩提寺、西国三十三か所の観音堂、  
成就院、四国八十八か所巡りなど  
歴史的な見どころも満載です。

殿田には元気で、優しい人がいっぱいです。

伊藤博則 記

## CONTENTS

A	AYU 鮎
B	BLACK BEANS 黒豆
C	CURRY 日吉ダムカレー
D	DAM 日吉ダム
E	EIGHTY EIGHT 八十八か所巡り
F	FUNATSUKIBA 船着場(浜)
G	GYOJYAYAMA 行者山(岩)
H	HIYOSHIJINJYA 日吉神社
I	IKUNSEKI いくん石
J	JYOJYUIN 成就院
K	KANNONDO 東向観音堂
L	LEARN 殿田小学校・殿田中学校
M	MICHINOEKI 道の駅スプリングスひよし

N	NATSUMATSURI 夏祭り・いなか祭り
O	OMUKAI 大向営農組合
P	PERFORMANCE 劇団殿田の案山子
Q	QUESTION 殿田の名前の由来?
R	REST Rest(憩)
S	SOUGENJI 曹源寺
T	TALK HALL 殿田と一く・ほーる、とまり木
U	UMEWAKAKE 梅若家
V	VOLUNTEER ボランティア
W	WA 和
X	X JR日吉駅
Y	YAKUJINSAN 厄神さん
Z	ZUIDO 殿田隧道



大堰川(桂川)の鮎は清流で育ち、香り、味も良く「世木の鮎」として、京の有名旅館で食されました。世木の鮎は友釣りで取るため、元気な鮎であることから殿田の料理旅館「錦水亭」店主・上村氏が漁師から買い付け、山陰線で殿田駅から京都へ汽車で大きな桶に鮎を入れ、1時間半かけ運ばれました。道中、桶の水を手じゃくで水を動かした苦勞話を聞かされました。

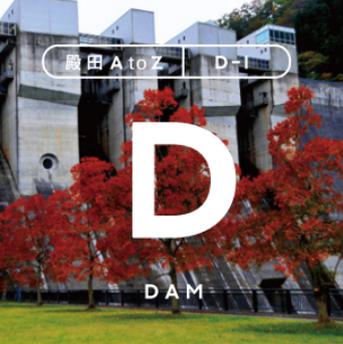
### 鮎

丹波高原に位置する里山は、季節の寒暖差が大きく、秋には霧が発生し、清らかな水と恵まれた気候風土により、豊かな農産物が栽培されています。特にこの地域で作られる黒豆は「丹波黒」と呼ばれ、京都の特産品に指定されています。別名「苦勞豆」と呼ばれ、当地では手作業で大切に栽培がされています。

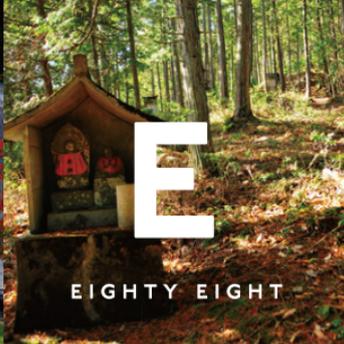
### 黒豆

全国に約140あるダムカレーの9番目にできた「スプリングスひよし」の人気メニューです。ご飯はダムを、カレーはダム湖、古代米は芝生公園、ゆで卵は円形橋を表現しています。「ダムカレーカード」発行第1号で、日本ダムカレー協会協力のカップセルトイ(ガチャ)も販売されています。

### 日吉ダムカレー



DAM



EIGHTY EIGHT



FUNATSUKIBA



GYOJYAYAMA



HITAYOSHIJINJYA



IKUNSEKI

日吉ダムは淀川水系の治水対策及び京阪神地区への水道用水の供給、河川流量の確保を目的として、京都府船井郡日吉町（現南丹市）に平成10年に建設されました。日吉ダムは「地域に開かれたダム」としてダムや周辺が整備され、多くの人々が訪れる地域の憩いの場となっています。堤体内で見学可です。

## 日吉ダム

成就院の裏山に約1kmにわたる山道に、四国霊場のお堂（札所）が点在しています。これは4代前の住職・真守泰道、真守泰春和尚が近隣から浄財を集め建立したものです。四国八十八か所の写である札所を約1時間ですべて巡ることができ、これを結願成就すれば四国巡礼と同じご利益を得ることができます。

## 八十八か所巡り

殿田を流れる大堰川は、明治時代まで船が航行していました。殿田にも数か所の船着場（浜）があり、物資を積荷していたそうです。しかし、他の交通機関が発達し、その役目を終えました。今では岩しか残っていませんが、そこには確かに人々の生活がありました。

## 船着場（浜）

殿田の町を一望できる行者山の中腹の一枚岩に役行者（えんのぎょうじゃ）が彫られています。近くには、行者の滝があり、行者が身を清め一夜、堂に籠り、お参りを行った像の前の絶壁岩から身を差し出し、祈願を行っていたとのこと。

## 行者山（岩）

「世木五社」の一にして、山王大権現を氏神として社殿が建っています。境内には、観音堂、毘沙門、妙見、地藏、弁天、愛宕、稲荷、山の神、熊野大権現塔、神仏習合の様子が今も伝えられ、全国的に珍しいようです。年始には近隣の方々がお参りし、神矢を買い求め、新春をお迎えになっています。

## 日吉神社

昭和16年4月27日、汽車の煤煙が飛び火し、殿田の住宅104戸が焼失。船岡に続く山林50ヘクタールを延焼させる大火災が発生しました。小牧町の出火跡地には、復興と防災への心構えを刻んだ石碑が建っています。

銘日

此火雖滅  
且勿放心  
不恃無災  
特用意深

## いくん石



鎌倉時代中期に創建された高野山真言宗の寺で、本尊は薬師如来です。通称「日の寺」として親しまれています。境内には、日吉ダム建設に伴い水没する平尾寺と盛林寺が移転され、隣接して、ヒノ谷墓園、世木村忠魂碑があります。山中には八十八か所巡りがあります。

## 成就院

天文2年(1737)建立、東向き建てられているため、東向観音堂と言われています。堂内には阿弥陀如来像、西国三十三か所札所の御本尊を模した三十三体の観音像が安置されています。区民の信仰と行き届いた管理のもと、300年の長き歲月、守護されています。

## 東向観音堂

殿田小学校は昭和33年に日吉町の6校が統合し開校。殿田中学校は昭和24年に世木、五ヶ荘、胡麻郷3校の統合で設立。多くの卒業生を輩出しています。昭和55年まで高校の分校もあり、1か所に小中高の3校がある学びの中心でした。今も学校には明るい声が響きます。

## 殿田小学校・殿田中学校

日吉ダムの直下、平成10年に開業した南丹市の総合施設です。桂川を挟み、左岸に地元特産品や新鮮野菜を販売する売店とレストランがあり、右岸に天然温泉・温水プール・体育館があります。地域振興、観光、健康増進の拠点施設です。BBQやキャンプなどアウトドアも盛んです。

## 道の駅スプリングスひよし

毎年8月14日、ふれあい広場で行われる夏祭りでは子どもたちの魚つかみ、屋台も出て、花火も打ち上げられ、お盆で帰省した人も加え大変賑わいます。いなか祭りは秋の収穫を祝い、農産物の品評会や餅つきで盛り上げられます。

## 夏祭り・いなか祭り

平成19年4月に農家27軒で、農地保全を目的に集落型農業法人として設立されました。大向地区の農地は6.7haと、法人としては小規模ながら、農作業委託、水稲、黒大豆栽培、貸農園をおこない、女性による加工部が弁当、巻寿司、納豆餅、草餅等を道の駅などで販売しています。

## 大向営農組合



平成17年に殿田の有志8人から始まった演劇集団は現在、男女12名が自作自演で活動。地域のみんなの楽しみの一つとなっています。殿田地域は大正時代から地元の人達による地歌舞伎、謡、浄瑠璃などが演じられ、昭和になっても青年団による芝居が大人気でした。この劇団もそうした伝統が活動の源流となっているのかも。みなさん観にきてね。

## 劇団殿田の案山子

田原川と木住川が合流し大堰川となる場所で、世木庄の中核集落「殿田村」は元和5年(1619)、園部藩領でした。豊臣秀吉の時代から筏運が盛んであったこの地名の由来は？殿様の田んぼだった？謎ですね～。

## 殿田の名前の由来？

身近な場所で人々が楽しく過ごせる憩いの場として「いきいきサロン」や「わっかっか」があります。サロンではお花見、七夕等、季節の行事を取り入れたり、「わっかっか」では思いの歌で交流を深め、歌やおしゃべりでリラックス、どちらも日常生活(活動)の中でほっとできる場所と時間になっています。

## Rest(憩)

曹洞宗に属し、園部町にある竜穩寺二世の海雲桂川禅師に梅若家が帰依し、殿田は山紫水明の地なれば、この地に隠居されたしと、天文15年(1546)頃、庵を建立し、先祖の菩提を弔いました。徳川時代初期に竜穩寺十七世、月子良桂禅師を開山として曹源寺となりました。

## 曹源寺

「とく・ほーる」は地域住民のふれあいの場として幅広く活用されています。秋の「殿田いなか祭り」のメイン会場です。所有は南丹市ですが、維持管理は殿田区の住民の手で毎月掃除をおこない、大事にしています。「とまり木」は空き家を利用した交流スペースとして利用できます。

## 「殿田とく・ほーる」「とまり木」

奈良時代、橘諸兄に始まり、十世から梅津姓を名のりました。文明13年(1481)、梅津景久公が後土御門天皇の前で「芦刈」を舞って、若の一字を賜り、梅津一族はこの時から「梅若」に改姓しました。元は武士で明智光秀の側近。本能寺の変で戦死しましたが、江戸時代には能楽師として徳川家に召しかかえられました。

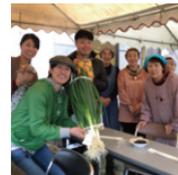
## 梅若家

8月14日 殿田夏祭り



殿田夏祭りのクライマックスは午後8時から始まる花火です。大堰川から打ち上げられる花火は少しの時間ですが殿田の皆さんの気概が感じられます。

11月末 殿田いなか祭り



殿田農家組合が主催です。秋に収穫される野菜品評会で、ネギや大根など自慢の野菜が出品され、金賞、銀賞が選ばれます。販売もしています。



## 殿田隧道

殿田隧道は殿田大堰川下にある「大西堰」から園部内林から木崎町までの農業用水路にあります。当時は大堰川沿いの水路で通水していましたが、度重なる水害に見舞われたため、昭和16年着工、同20年に完成。第2次世界大戦中に工事が行われたため、別名「勝負隧道」とも呼ばれ、現在も利用されています。



## 厄神さん

小道津から200m上流の中世木川との合流点に八幡神社の森がありました。毎年1月19日の厄神例祭は露店が軒を連ね、船井郡や亀岡市をはじめ、京都からの参拝者で終日にぎわい、「中村の厄神さん」として有名です。八幡宮は九州の宇佐八幡宮から分霊を鎮座したと言い伝えられています。現在は亀岡市千代川に移転しています。



## J R日吉駅

明治43年(1910)、殿田駅として開業。駅舎は胡麻川の流れを東に寄せて変え、広場を作り、今の場所に建てられました。マンガン、薪等を中心に貨物の取扱量の多いのが特徴で、地元はもとより周山、美山からも人や物資が集まり、大いに賑わいました。今は、学生たちが賑わいの中心です。



## 和

殿田は各種団体の和、知恵と行動力、思いやりと絆で動いています。経験豊かな長寿会、美鈴会の皆さん、地域の中心として活躍されるあけぼの会、バンジー、地域の宝子供会、自由な発想で活躍する自遊自感、みんな活発です。殿田の自慢、頼りにしています。



## ボランティア

殿田ボランティアグループでは、長年にわたり日吉駅前付近に設置のプランターの花植え、除草、梅若墓地の清掃等をおこなっています。また殿田の各団体では夏祭り時、神社清掃等の協力、別の面ではいきいきサロンの運営等、住民のボランティア協力によって殿田の行事は継続されています。

## 曹源寺橋 欄干柱



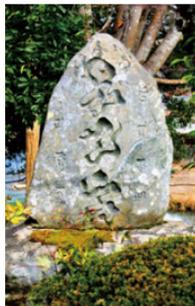
曹源寺門前の田原川に架かる曹源寺橋の欄干柱には、切り絵風の能楽の四種類の絵があらわれています。写真は演目「鶉飼」で、鶉使いの老人です。禁漁の罪を犯したために殺された漁師の悲劇とその鶉飼の業の見事さ、そして「法華経」による救済を描いています。

## 角倉了以



家康が幕府を開いて3年後、大堰川開削の許可を得て、開削に着手する掘削は、30数キロに及ぶ殿田から嵯峨までの舟の水路を6か月で完成させました。これにより丹波地方の農作物がより多く都に運ばれるようになりました。嵐山の千光寺の碑文には「嵐山から世木まで」と記載されています。

## 水天宮



曹源寺の中に鎮座している水天宮、「こより文字」で書かれています。古老に聞くと、殿田に洪水が多く発生したので水難除けの「水天宮」を地元で建立したとのこと。水天宮は日本全国にあり、水難除けだけでなく、子どもを守護し、漁業、海運、農業、水商売、また安産、子授け、子育てについて信仰が厚いです。

## 天若湖 アート プロジェクト



日吉ダム建設によってできた天若湖(あまわかこ)。この場所にはかつて天若(あまわか)という集落がありました。今はないその家々約120戸のあかりをLEDライトでダム湖面に再現するという幻想的なプロジェクトです。一人の学生の思いつきからスタート、11年継続されています。

## MAP



## ACCESS



電車で

JR京都駅から山陰本線(嵯峨野線)で約60分  
JR大阪駅から約1時間30分  
最寄駅/日吉駅



車で

京都市方面から京都縦貫自動車道(園部IC)で約30分  
最寄IC/園部IC

## 殿田AtoZ

発行日 2018年5月10日

メンバー 伊藤博則  
井尻治  
岡本悦子  
中川達也  
西尾孝道  
橋本早百合  
平川正己  
水谷千里  
吉田隆市  
吉田尋子  
吉田正彦  
今井敬三(日吉ダム管理所長)  
下村泰史(京都造形芸術大学准教授)  
浅田徹雄(南丹市集落支援員)

発行 「殿田AtoZ」編集委員会  
代表 伊藤博則  
京都府南丹市日吉町殿田  
0771-72-0568

協力 塩見直紀  
(半農半X研究所、福知山公立大学、総務省地域力創造アドバイザー)

販売価格 100円

